

小川の夏の夕暮れは、風がそよそよと吹き、暑さを忘れさせるような一瞬があるけれど、襦（みそぎ）があるのだからやはり夏なのだなあ、という歌。襦とは夏越の袂（なごしのはらえ）という、川の水で身を清め穢（けが）れをばらう夏の儀式。暑い日に水を浴びて涼しくなりたい、身も心もすっきりして心地よくいたい、という願いは、今も昔も変わらないうつろです。

今日の歌

風そよぐ
ならの小川の夕暮れは
襦ぞ夏のしるしなりける

（従二位家隆・新勅撰集）

もしバナ体験会のご案内

もしバナ体験会は、85年の歴史をもつ救世軍清瀬病院が共催する「もしバナゲーム」の体験イベントです。偶数月の第2水曜日に定期開催しています。

「もしバナゲーム」とは、もしもの時のことを考えてみるゲームです。年齢や性別を問わず、できるだけ多くの人に体験していただきたいと思います。詳しい説明は裏面をお読みください。

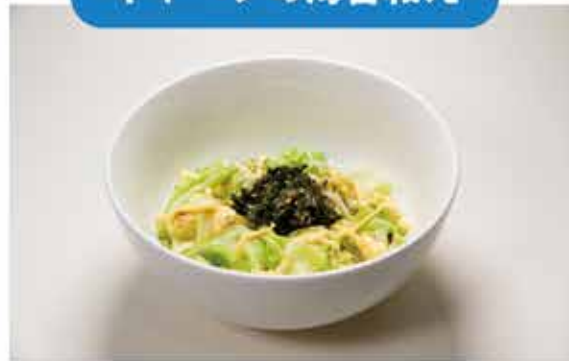
日時 2024年8月14日（水）
13時30分～15時30分 [13時開場]
場所 清瀬市竹丘 1-17-9
救世軍清瀬小隊 第2ホール

お申し込みは、おハガキまたは下記のメールアドレス宛に、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を記入して送ってください。

代表 高橋

kiyose-moshibana@jpn.salvationarmy.org

キャベツの海苔和え



管理栄養士の おすすめレシピ

材料
キャベツ 1/4玉
マヨネーズ 大さじ1
しょうゆ 小さじ1
海苔/ゴマ油(韓国のり可)

①キャベツを一口大にカットして耐熱容器に芯を下、葉を上重ねて800W2分30秒加熱する。

②①にマヨネーズとしょうゆを混ぜて、ちぎった海苔を和えてゴマ油をかける。

★電子レンジで加熱することで水溶性ビタミンの損失を抑え、またゴマ油を加えることでビタミンKの吸収を促すことができます。



救世軍清瀬病院の思い

救世軍清瀬病院は、ホスピス緩和ケア病棟だけではなく、広い意味で人生のエンドステージを過ごす患者様のお世話をしています。患者様一人ひとりを大切にすることとは、患者様の価値観、人生観など、一人ひとりの考えを大切にすることです。

ACP(人生会議)と「もしバナゲーム」

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) は人生会議と訳され、もしもの時のために自分の最期を見据え、自分が何を大切にしているのか、考えたり話したりしておこう、というものです。

「もしバナゲーム」は、より具体的にそのことを考える道具として作られたカードゲームです。清瀬もしバナ会では定期的に体験会をおこなっています。ぜひご参加ください。



清瀬もしバナ会の活動

清瀬もしバナ会は、当院ホスピス緩和ケア病棟に携わる看護師、医療相談員、管理栄養士、チャプレンから結成されたチームです。地域の方々に ACP (アドバンス・ケア・プランニング) について知る機会、ともに学び、考える機会を提供することで地域貢献したい、そして当院をもっと身近に感じていただきたい、という願いから始まっています。

The Salvation Army Kiyose Hospital



救世軍清瀬病院



救世軍清瀬病院は、ホスピス緩和ケア病棟、医療療養病棟、介護医療院の3つの部署をもつ病院です。病気のこと、入院・療養のことなど、お困りごとがあれば、当院の医療相談員がご相談に応じます。

医療相談室 直通電話
(平日 9時～17時)

042-491-1412